

昭和女子大内に移転、交流

米テンプル大日本校



新キャンパス完成記念式典で、祝杯をあげるテンプル大
米国本校のリチャード・イングラート総長（左から2人
目）、昭和女子大の坂東眞理子理事長（同3人目）ら
世田谷区のテンプル大ジャパンキャンパスで

米国ペンシルベニア州（TUJ）が、昭和女子
立の総合大学・テンプル大（世田谷区太子堂）の
大ジャパンキャンパス キャンパス内に移転し、

本格的に授業が始まっ
た。今年14日の昭和女子
大のオープンキャンパス
では、TUJとの協働プ
ロジェクトで生まれた食
事メニューが両大学共用
の学生食堂で提供され
る。2005年に文部科
学省から外国大学日本
校として初の指定を受け
る。両校の学生有志は10月
から、世界各国の伝統料

学が日本に進出した。だ
が、バブル崩壊で多くが
撤退した。TUJは短期
的利便は求めず、長いパ
ートナリシップを追求
する。両校の学生はシ
ェンダー、人種、国籍な
どの多様性をキャンパス
内で経験することができ
る」とイングラート総長
は相乗効果に期待をかけ
る。

施設を共用、単位互換

している。
TUJが開校したのは
1982年で、外国大学
の日本校としては最も長
い歴史を持つ。新キャン
パス完成記念式典に合わ
せ来日したリチャード・
イングラート総長は「80
年代に米国から多くの大
学が日本に進出した。だ
が、バブル崩壊で多くが
撤退した。TUJは短期
的利便は求めず、長いパ
ートナリシップを追求
する。2005年に文部科
学省から外国大学日本
校として初の指定を受け
る。両校の学生有志は10月
から、世界各国の伝統料
理をアレンジして学生食
堂で提供するプロジェクト
に取り組んでいる。今
月の提供メニューは「ク
ラブ（カニ）ケーキ風ラ
ンチ」（税込み410円）
で、14日はオープンキャ
ンパス参加者も味わうこ
とができる。【上杉恵子】